



JONAN TIMES

発行■長崎県立
大村城南高等学校
〒856-0835
長崎県大村市久原
1丁目416番地

大村城南

検索

学校行事

『一年生』

修学旅行

』

2年生 修学旅行

1月12日(火)から4日間、2年生は、東日本大震災について学び、福島県猪苗代でスキーの体験もしてきました。最終日は、東京を観光しました。4日間の集団生活を通して社会性・協調性を養うことができました。



機内での様子 (長崎空港)



スキー教室開校式



高い堤防が築かれていた海岸 (福島県いわき市)



夕食風景



スキー研修

『新春所感』

校長

吉田 寿

皆さんは、奈良時代後期に成立した現存する我が国最古の歌集である『万葉集』を知っていますね。二十巻約四千五百首の和歌が収められています。詠み手には皇族や貴族だけでなく、一般庶民も含まれています。その一番最後に取り上げられている歌は、『万葉集』の編纂に携わった大伴家持の歌です。

あした
新しき年の始めの初春のけふ降る雪のいや重け吉事しよとく

この歌は、「新しい年の初め、初春の今日降る雪、豊作のしるしである雪がしきりに降り積もるように、今年一年良いこともたくさん積もってくれ」という意味で、新年を寿ぐ歌として有名です。

大伴家持が、この歌を詠んだのは、藤原氏と橘氏の抗争に巻き込まれた形で、因幡国に左遷されて初めて迎えた正月のことでした。いわば、失意のどん底の中で詠まれた歌なのです。

昨年紹介した、石川啄木が二十五歳になる年に詠んだ、
何となく、今年はいよいよ事あることし。元日の朝、晴れて風無し。
という歌と成立事情に共通するものがあります。啄木の歌は、のどかな正月気分を詠んだ歌のようですが、実はそうではありません。啄木は前の年に生後間もない長男を亡くしています。また、家族の病氣、家庭の不和、借金による生活苦など悩みの多い一年でした。ですから、そういう状況から脱却したいという希望を込めてこの歌を詠んだのです。

昨年は、学校全体としては、美りの多い一年でした。ただ、個人的には辛いことや困難なことにぶつかり解決できないまま新年を迎えた人もいるだろうと思います。

昨年、順調であった人も、逆境にあった人も、新たな年を迎えるにあたって、改めて前向きな気持ちを強くもって学校生活をスタートさせましょう。

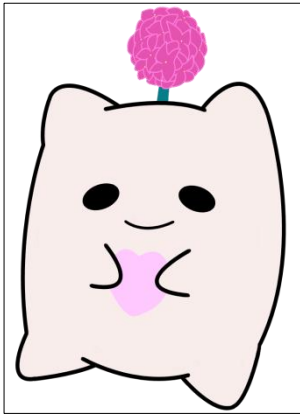
(三学期始業式校長訓話の一部)

～福祉系列～ 日本政策金融高校主催

第3回高校生ビジネスグランプリ『セミファイナリスト賞』受賞

福祉系列3年生の清水康太郎くんは、課題研究の成果をまとめて第3回高校生ビジネスグランプリに応募し、応募総数2333件の中、ベスト20位までに与えられる『セミファイナリスト賞』を受賞しました。長崎県では初の受賞となりました。研究は、「福祉モール：アルメリアの創設を目指して」と題して行い、少子高齢社会が抱える様々な社会的課題を解決に導くアイデアを、福祉モール建設プランに盛り込みました。斬新な発想と福祉への熱い思いが伝わる内容であったと講評を頂きました。

受賞した清水くんは、「高校で『介護福祉士』、専門学校で『作業療法士』のダブル国家資格を持って、ふるさと高来町の福祉向上に努力したい」と次の抱負を語ってくれました。



モールの
マスコットキャラクター



モールの名称にした
アルメリアの花



～人文自然系列～

人文系列では、進学を目指す生徒が学習に励んでいます。志望校に応じてそれぞれが頑張っています。



英語の学習風景



冬休みの学習会



学習会での質問風景

～手芸部～

手芸部は、2年生6名、1年生3名の少人数で活動しています。少人数ではありますが、団結力があり、とても仲の良いメンバーで和気あいあいと作品作りに没頭しています。今年度も城南祭で披露できるようにパッチワークのタペストリーを製作しました。ピースの数が多くて気が遠くなりそうな作業でしたが、みんなで力を合わせてがんばりました。

